

武田家三代の盛衰体感

◆ オプショナル スポット紹介

信玄の生涯 ゆかり巡り

◆ オプショナル スポット紹介

武田家 墓所巡り

それぞれに由緒ある墓所巡りは、信玄の周りにいた人々にもスポットがあたり、武田家のイメージがさらに膨らみます。

信虎・信玄・勝頼と甲斐の国を統一後の栄枯盛衰を感じながら甲府市北部を巡る二つのオプシオンをご紹介します。

オプショナルスポット



武田竜宝供養塔 (信玄次男・竜宝墓所)
(たけだりゅうほうこうようとう)
武田家終焉の際にここで切腹した信玄の次男・竜宝のお墓です。信州海野城主となったこともありましたが、目が不自由で早くから仏門に帰依し、半僧半俗でもあり「お聖尊様」と呼ばれました。



円光院 (信玄正室墓所)
(えんこういん)
甲府を望む場所で見えます。信玄は元服後に公家の名門から三条の方を正室として迎えます。夫人亡き後、法名にちなんで改称されたこのお寺には、三条夫人の葬儀目録や護身用の短刀、打敷などの文化財が残されています。



法泉寺 (武田勝頼墓所)
(ほうせんじ)
夢窓国師ゆかりのお寺でもあります。南北朝時代に甲斐国の守護を務めた武田信武が創建。信玄からは9代前に当たり、武田氏中興の祖といわれています。また、信玄の息子・勝頼の菩提寺ともなっています。
●信長により京都の市中に晒しものになっていた勝頼の歯髪を密かに甲斐に運び、このお寺に埋葬したので、後に正式に墓所となりました。



東郷平八郎書の石碑



要害城跡 (ようがいじょうあと)
居館を防衛する山城がありました。信虎が籠城するために築いた城。完成して間もなく駿河勢が侵攻してきましたが、無事に撃退し、その時に信玄が生まれました。要害山山頂には、「武田信玄公誕生之地」と書かれた、東郷平八郎書の石碑があります。

百名山 百名城

躑躅が崎館跡 (現・武田神社)
(つづしがさきやかたあと)
領国支配の中心。まさに信玄が住み、指令を出した場所。この地に立てばここが天然の要害である事がよくわかります。

武田信玄火葬塚
(たけだしんげんかそうづか)
密かに茶屋に付された信玄のお墓。地元から魔縁塚と恐れられていたこの塚を甲府代官が発掘し、「法性院機山信玄大居士 天正元年癸卯四月十二日薨」と記された石碑を発見したといわれています。没後200年のことでした。



武田氏館跡東側から見える夢見山

夢見山 (ゆめみやま)
信玄誕生にまつわる伝説の山。飯田河原の戦いの際に信虎がここで若君誕生の夢を見たという伝説や信玄本人がここにある石を枕に戦いの勝敗を占う夢を見たといつた言い伝えがあります。大泉寺の東側です。

※甲府駅北口から武田神社まで路線バスがあります
※甲府駅南口にはレンタカー会社が多数あります



武田信玄火葬塚
(たけだしんげんかそうづか)
3年の間、死を伏せさせた信玄でした。三河攻め途中で病死した信玄の遺体は、武田24将の一人、土屋右衛門尉昌統の邸内に仮埋葬されていました。後に銘が記された石碑が発掘され、墓と定められました。

ちょいメモコラム
おぼえろ



東光寺 (信玄嫡男・義信墓所)
(とうこうじ)
北側のお庭の拝観もおおすすめです。源義光が祈願所としていた興因院を鎌倉期に渡来僧の蘭溪道隆が再興し、信玄の保護を受けました。裏山には諏訪侵攻で連行された諏訪頼重や謀反の疑いをかけられた武田義信の墓所もあります。仏殿は16世紀中期に造られた国の重要文化財です。



大泉寺 (武田信虎墓所)
(だいせんじ)
建物の奥に墓所がひっそりと囲われています。信玄の父・信虎が自らの位牌所として創建したお寺。その後天文10年(1541)に信玄によって駿河国に追放され、諸国を30年余り流浪した信虎は結局、帰国が叶わずに信州高遠で病没しました。孫の勝頼によりここ大泉寺で葬儀が執り行われました。

●信虎は奇行や野蠻で非道な行為が多く、家臣の精神的な離反もあったようです。対外的には父を追放した不孝者として信玄は揶揄されました。それに怒った上杉謙信の話も有名ですね。



逍遙院 (信玄実弟・信綱墓所)
(しょうよういん)
元祖「信玄の影武者」は絵が得意でした。信玄の実弟・武田信綱(信廉)の菩提寺。信玄によく似ていたため影武者として敵方を欺いたという逸話も残っています。また、絵の才能もあり彼が描いた父(信虎)や母(大井夫人)の画像は国の重要文化財に指定されています。



周囲にはブドウ畑がいっぱい



長禅寺 (信虎正室墓所)
(ちやうぜんじ)
信玄のお母さんのお墓があります。信玄の母・大井夫人の菩提寺。夫人は故郷(現・南アルプス市鮎沢)の長禅寺(現・古長禅寺)住持・岐秀元伯に深く帰依し、彼に信玄の家庭教師役も依頼しました。信玄はそこで儒学や禅、治国を修学。信玄の出家に際して、岐秀元伯は導師をつとめたとされます。この甲府の長禅寺は大井夫人墓所ともども移されたお寺です。



奥平八郎書の石碑

甲斐善光寺
(かいぜんこうじ)
信玄の信濃侵攻を伝える寺は、文化財の宝庫。川中島合戦の際に、信玄が戦火にあうのを避けてご本尊などの寺宝を甲府に移し建立したお寺。撞木造の本堂は東日本でも有数の規模の木造建築物で、山門や阿彌陀如来像とともに国の重要文化財に指定されています。

甲府五山と甲斐善光寺
臨済宗に帰依した信玄が、京都や鎌倉五山にならい定められた甲府五山。弘法大師伝説+α 大宰治が愛したまち+α

長禅寺 (ちやうぜんじ)
甲府五山の筆頭格。信玄の人間形成に大きく貢献。中道古墳群+α 山崎方代/長田円右衛門

咳止めには「おせきばあさん」!?
甲斐善光寺山門を入ってすぐ右に、咳止め願掛けの「おせきばあさん」があります!咳が無事止まったら、お礼にアメを奉納するのです。咳(せき)=石(せき)...

